



2026年4月10日

各 位

会社名 株式会社サイフューズ
代表者名 代表取締役 秋枝 静香
(コード番号：4892 東証グロース・福証 Q-Board)
問合せ先 取締役 CFO 経営管理部長 三條 真弘
<https://www.cyfusebio.com/contact>

歯科領域の新たな治療法開発に関するお知らせ

～ 広島大学との共同プロジェクトの公募事業採択と開発フェーズの進展 ～

株式会社サイフューズ（本社：東京都港区、代表取締役：秋枝 静香、以下「サイフューズ」）は、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」）とともに推進してきた「バイオ 3D プリンタで作製した三次元移植組織を用いる革新的歯周組織再生療法の開発」プロジェクトが、この度、日本における医療研究開発の公的基盤である国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「令和 8 年度 再生医療等実用化研究事業」に採択されましたのでお知らせいたします。本事業採択を受け、当社では、本プロジェクトをこれまでの基礎研究フェーズから社会実装に向けた臨床開発フェーズへと開発を加速させてまいります。

【本プロジェクトの背景・進捗】

現在、我が国では 40 歳代以上の約 4 割が歯周病に罹患しており、中でも重度歯周組織破壊に至っている患者数は数百万人規模と推算されております。重度歯周炎による歯周組織の破壊は、歯の喪失を招き、高齢者フレイルに至る原因になるとともに、糖尿病、アルツハイマー型認知症や心血管系疾患などの現代病のリスク因子にもなることが報告されていますが、現在のところ、既存の治療方法では根治が難しく、重度の歯周炎に対する有効な治療法の確立が待望されています。

当社では、細胞のみから立体的な細胞構造体を作製する独自のバイオ 3D プリンティング技術を様々な領域で活用し、新たな再生医療等製品などの革新的な 3D 細胞製品を新たな治療法の選択肢として実用化するための開発を進めております。

歯科領域においては、2021 年より広島大学（広島大学病院 加治屋 幹人教授）とともに、世界で最も患者数が多い疾患とされる歯周病、特に既存治療では完治が困難な「重度歯周炎」に対する革新的な治療法の確立を目指して、AMED の支援（令和 5 年～7 年度事業採択）に基づき、本プロジェクトを進めてまいりました。

その結果、広島大学が開発した細胞培養技術と当社独自の「バイオ 3D プリンティング技術」を融合させ、従来の人工材料や薬剤注入法等では治療が困難な広範囲な欠損への適応可能性を有する移植組織を構築する基盤技術について、非臨床（動物）試験による有効性を確認し、本成果を日本再生医療学会、日本歯周病学会等において学会発表（8 件）及び構築技術の国際特許として出願（2 件）いたしました。

【今後の展開】

今後は、広島大学が有する臨床知見と当社独自の基盤技術を融合させた強固な産学連携体制により本プロジェクトの社会実装を加速し、重度歯周炎に対する新たな治療法の確立を通じて、従来は抜歯が避けられなかった患者さまの「天然歯の温存」による QOL（生活の質）向上と「健康寿命の延伸」への貢献を目指してまいります（図1）。

当社では、今後も再生医療パイプラインの拡充による一層の事業価値強化を図り、加えて本プロジェクトの対象のような生活習慣病領域への参入やグローバル展開を積極的に推進し、病気やケガ等で苦しむ患者さまのため、革新的な技術で医療へ貢献するとともに、事業基盤の強化と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

なお、本件による 2026 年 12 月期の業績への影響は、現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

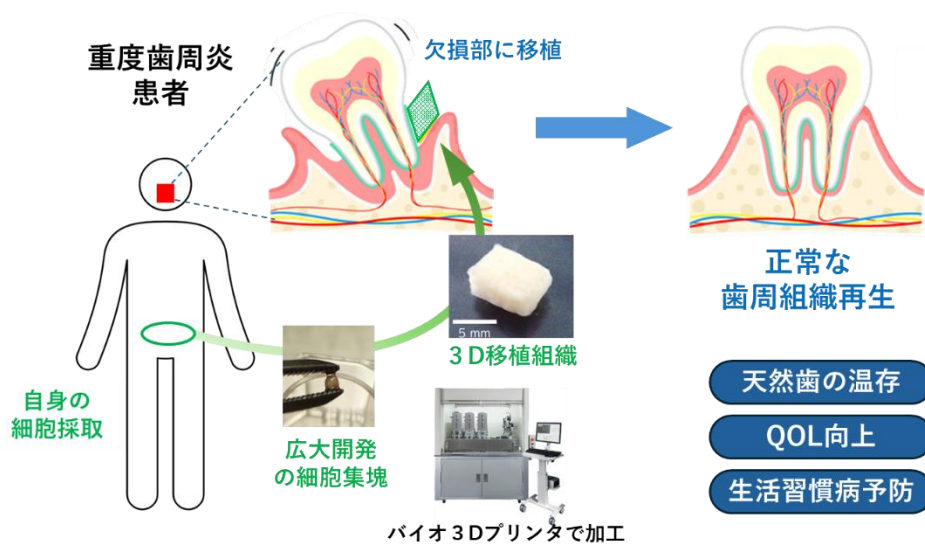


図1 自家細胞を用いた、歯周組織再生（概念図）

以上